

新型コロナウイルス感染防止対策については、市内全小・中学校において以下のガイドライン及び通知（抜粋）に基づき、児童生徒の行動変容の徹底、教職員の感染リスク低減の取組を確実に実施しているところである。今後もこれまでの取組をより一層深化・徹底させ、「学校の新しい生活様式」を確立し、子供たちの健やかな成長と学びを保障する。

1 感染症対策の徹底について

（1）基本的な感染症対策の実施

- ① 感染源を絶つ
 - ・発熱等の風邪症状がみられる児童生徒は、自宅で休養（出席停止）
 - ・家庭と連携した毎朝の検温及び風邪症状の確認
 - ・毎授業開始時の健康観察と記録
- ② 感染経路を絶つ
 - ・手洗いや咳エチケット、マスク着用
 - ・換気の徹底
 - ・適宜消毒実施
 - ・清掃により清潔な空間を保つ
- ③ 抵抗力を高める
 - ・十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事
 - ・基本的生活習慣の確立

（2）集団感染のリスクへの対応

- ① マスクの着用
児童生徒及び教職員は、身体的距離が十分とれないときはマスクを着用する。
- ② 「3つの密」の回避 ※可能な限り、1つ1つの条件が発生しないよう配慮する。
 - ア 密閉空間は避け、こまめに換気する
 - ・可能な限り、2方向の窓を開放する。
 - イ 多くの人が密集する場所を作らない
 - ・握手や手つなぎ、ハイタッチ等の不必要な身体接触を避ける。
 - ・並び方や座席配置等を工夫し、1 m以上の間隔をあけるように努める。
 - ・学年集会などは広い場所で行い、身体的距離を確保する。
 - ウ 近距離での会話や発声などの密接場面を作らない
 - ・授業や昼食は、対面にならないようにする。
- ③ 手洗いの徹底
流水と石けんによるこまめな手洗いやうがいの励行

（3）新型コロナウイルスに関する正しい知識の指導

児童生徒に対して、新型コロナウイルスに関する正しい知識を身に付けさせるとともに、これらの感染症対策について、児童生徒が感染のリスクを自ら判断し、これを避ける行動をとることができるよう、資料等を活用し、発達段階に応じた「正しく怖がる」指導を行う。

2 学校生活について

（1）各教科等の指導

- ① 全体に関する内容

- ・朝の会や授業開始時に健康観察を実施し、健康状態を把握する。
- ・少人数による話し合い、教え合いなどを実施する場合には、一定の距離を保ち、同じ方向を向くようにし、また回数や時間を絞るなどして実施する。
- ・通常授業及び家庭学習で積極的にＩＣＴを活用することで、不測の事態に備える。

② 教科指導上の留意点

- ア 各教科等の指導については、リスクの低い学習活動に心がけ、「感染症対策を講じてもおお感染のリスクが高い学習活動」は、実施方法や時期の変更などの工夫を行う。
- イ 教材等の使用について
 - ・できるだけ個人の教材教具を使用し、児童生徒同士の貸し借りはしない。
 - ・器具や用具を共用する場合は、使用前後に消毒や手洗いを行わせる。

(2) 給食

食事は前向きで、なるべく会話を控えさせる。

(3) 学校行事

感染リスクが高い学校行事については、以下の対応をする。

- ① 全校集会や学年集会、文化的行事等
 - ・「３密」の回避を工夫する。徹底できない場合は実施しない。
- ② 運動会・体育祭、体育的行事等
 - ・開閉会式、競技内容、応援席を問わず、「３密」を回避するよう、運営方法を検討する。
- ③ 修学旅行、宿泊行事、校外学習等
 - ・移動車内でのマスク着用、見学や体験活動等での「３密」回避、宿泊先の住環境など、綿密な行動計画を立てる。

(4) 部活動

活動内容等

- ・身体接触を伴う運動や活動はできるだけ避ける。
- ・多数の生徒が集まり呼吸が激しくなるような運動や、大声を出す活動は絶対に避ける。
- ・屋内で行う場合は窓の全開や道具の消毒等を徹底し、身体的距離を保てるように少人数での活動とする。

3 その他

(1) 修学旅行について

- ・小学校：全１６校中、１４校が１泊２日の行程で実施。２校が日帰りにて実施。
- ・中学校：全１１校が、２泊３日の行程で実施。

(2) 今年度卒業式、来年度入学式について

徹底した感染症予防対策を講じた上で、規模を縮小して実施する。

- ① 参列者

卒業生、保護者（一家庭２名以内）、来賓（市長、議長、PTA会長、市教育委員会）
- ② 次第

国歌斉唱、校歌斉唱、卒業証書授与、学校長式辞、来賓挨拶、卒業生の言葉